

事務事業名	コード1	40300	市民会館活動費	事業種別	<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画	課	生涯学習課		
	コード2		(40200市民会館管理費含む)		<input type="checkbox"/> 新市建設計画	所属班	市民会館		
施策体系	施策	12	生涯学習の充実	事業種別	<input type="checkbox"/> 総合戦略	電話番号	62-6581	内線	15
	施策の展開	23	生涯学習機会の充実		<input type="checkbox"/> 復興計画	予算科目	会計 一般会計 10 4 3		
				事業種別	<input type="checkbox"/> 定住自立圏構想	根拠法令	旭市民会館の設置及び管理に関する条例、条例施行規則		
					<input type="checkbox"/> 行政改革アクションプラン				
				事業種別	<input type="checkbox"/> 主要事業				
					<input type="checkbox"/> 簡易評価				

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 41 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	市民の福利増進及び教育文化の向上を図り、産業の発展及び市政の振興に寄与するため、主催講座事業の実施及び市民の生涯学習活動の場として提供する。また、当施設の維持管理運営を行う。図書館、文書館との複合施設であり、当該施設の維持・修繕も行う。 【貸館業務】 ①会議室 2室、②和室 1室、③ホール 【主催講座事業】 1講座(ふるさと歴史講座)。6月から全7回(最終回2月)。原則無料。【開館時間】午前9時～午後9時【休館日】毎週月曜日、祝日(月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)【使用料】第1会議室 100円/時間、第2会議室 300円/時間、和室 200円/時間、ホール 1,200円/時間 ※登録団体の減額あり。平成26年10月に改定。 【業務の流れ】 ・貸館業務：申請受付→申請書審査→当日対応(利用後使用料徴収) ・主催講座：公民館だより4/1号で通知、広報5/15号で募集。6月から全7回。

(2) トータルコスト

① 費目の内訳(26年度の実績) 単位:千円		単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)	
1.委託料	3,521	千円	3,718	3,385	3,521	3,631	
2.需要費	2,842	千円	3,640	3,158	2,842	2,583	
3.使用料及び賃借料	1,451	千円	1,610	1,429	1,451	1,519	
4.その他	300	千円	272	315	300	336	
5.工事請負費		千円				4,450	
② 特定財源の内訳(26年度の実績) 単位:千円		事業費計(A)					千円 9,240 8,287 8,114 12,519
1.国庫支出金		千円					
2.都道府県支出金		千円					
3.地方債		千円					
4.その他	171	千円	130	72	171	257	
前年度比増減理由:図書館窓改修工事実施予定のため		千円	9,110	8,215	7,943	12,262	
③ 延べ業務時間の内訳(26年度の実績) 単位:時間		人員費					人 3.00 3.00 2.00 2.20
2015時間×職員2人		時間	6,045	6,045	4,030	4,433	
		千円	22,971	22,971	15,314	16,845	
		千円	32,211	31,258	23,428	29,364	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	26年度実績(26年度に行った主な活動) ・貸館業務 ・主催事業		ア 開館日数	日	295	293	291
目的	27年度計画(27年度に計画している主な活動) ・貸館業務 ・主催事業 ・図書館の窓修繕工事	⑥ 対象指標名	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか) ・サークル活動等の場として利用する ・郷土の歴史を講座で学ぶ		イ 主催講座申込者数(講座定員)	人(人)	70(100)	61(100)	63(50)
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか 市民が特定のテーマについて学習する習慣を身につけることができる	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 市内に住所又は事務所を有する方		ア 人口(4月1日現在)	人	69,223	68,725	68,241
		イ 施設利用校区人口(旭地区人口)	人	40,421	40,273	39,992	39,819
		⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
		ア 会議室等利用者数(延べ)	人	14,263	11,755	11,698	11,698
		イ サークル活動に利用する団体数	団体	26	22	20	20
		イ ふるさと歴史講座受講者数(延べ)	人	300	235	274	274
		ア 特定のテーマについて学習する習慣を身につけている市民の割合(市民意識調査にて把握)	%	未把握	未把握	未把握	未把握

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
昭和32年に旧旭警察署建物を改築し、旭中央公民館を設置していたが、昭和40年に旭市民会館新築工事を着工し、現在に至る。ふるさと歴史講座については、松井安俊氏が文書館囑託に着任以来郷土史の理解を深めるため20年近く続いている。	建物が老朽化しており、ホールの冷暖房も故障と補修を繰り返しており、施設が最大限機能するよう心がけているが、使用者側が予定通り利用できない事態もしばしばある。	街中の便利な場所に位置しているが、駐車場がせまいのが難点だという利用者の声が多い。

事務事業名	市民会館活動費 (40200市民会館管理費含む)	課名	生涯学習課	班名	市民会館
-------	-----------------------------	----	-------	----	------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ この事務事業の目的は市の施策体系に結びつか？意図することが上位目的に結びついているか？ 市民がサークル活動等の場として利用したり、郷土の歴史を講座で学ぶことによって、特定のテーマについて学習する習慣を身につけることに結びつく。
	② 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象を市外在住者まで広げることも考えられるが、建物の耐用期限が平成28年度であるため、対象を広げることは難しい。意図についても現状で妥当である。
	③ 行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ 民間での事業実施も可能かもしれないが、適正に滞りなく業務を遂行できる個人や団体を見つけるのもなかなか困難とも思われる。
有効性 評価	④ 成果の現状水準	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ 会議室等利用者数は減少しており、会議室等の稼働率も類似施設と比べて高い水準にある訳ではなく、あるべき水準に達しているとは言えない。
	⑤ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？ 貸館業務は、建物の耐用期限が迫っている現状では活動量を増やしても環境が良くなり利用が増えるわけではない。主催講座は、同じような講座が他の場所でも開催されているので、活動量を増やしても大幅な受講者の増加は見込めない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (1) 事務事業名：(干潟公民館活動費、いよいよおかユートピアセンター活動費) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ <input type="checkbox"/> 他に手段がある場合 (1) 具体的にどのような事務事業か？ (2) 類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 平成27年度からいよいよおかユートピアセンターでの郷土歴史講座が廃止になったが、干潟公民館活動費と当事業で受け入れを行っている。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) 建物の維持・管理、主催講座の開催を無駄のない最低限の予算で行っている。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ 民間委託や臨時職員の配置により人件費を削減する余地はある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 受益機会について旭市は合併以来広域となったが、当館以外にも海上公民館やいよいよおかユートピアセンター等類似施設も開館しているため、概ね公平・公正であると思われる。費用負担については平成26年10月の使用料の見直しによって適正化が図られており、適切である。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	旭地区の公民館的施設としての役割を担っているが、駐車場が少ないことや施設設備も老朽化していることから利用者に不便をかけている。また、図書館も併設しているが施設規模から現在の蔵書数である10万冊が限界であることや、今後、維持管理費が増大することが予想されるため、他の生涯学習施設も含めた早急な再編の検討が必要となっている。	
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性		(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：干潟公民館活動費、いよいよおかユートピアセンター活動費) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																						
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
					コスト																		
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	○																					
	低下																						
いつまでに	いつまでに																						
平成28年3月までに	社会教育施設の施設機能の移転や建て替えを含めた生涯学習施設全体の再編案を作成する。																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
① 現有する市の施設の利用が可能か。																							
② 現在地での建て替えでは敷地面積小さく、また駐車場不足で利用の増加は難しい。																							